

平成24年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立大垣工業高等学校

学校番号 27

I 自己評価

<p>1 学校教育目標</p>	<p>誠実にして心豊かな人間性と強くたくましい身体の上で、すぐれた知識と技術を兼ね備え創造性に富む実践的な産業人の育成を図る。 このことを実現するために本年度は以下の重点目標を設定した。 (1) 生徒の興味関心を喚起して確かな力を身に付けさせる教育の推進 (2) 生徒に軸足を置いた豊かな人間性を育てる教育の推進 (3) 生徒一人一人が帰属意識をもち生涯を見通した進路意識を高揚させる教育の推進</p>	
<p>2 評価する領域・分野</p>	<p>◇渉外</p>	
<p>3 現状、生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等</p>	<p>・《アンケート結果より》 ・保護者が授業や学校行事等に参観する機会等をとらえよくアンケートをとっている。本年度は文化祭バザーに多くの保護者の参観が得られ行事にも積極的に参加された。また「ひびきあいの日」に中村氏による外部講演会も開催することが出来多くの保護者の参加があった。 ・学校の施設・設備は、学習環境の面でほぼ満足できる。朝学習の実施が継続され生徒は落ち着いた姿勢で取り組んでいる。保護者の観覧等があり環境の整備の取り組みについて保護者から理解を得ていることが分かった。</p>	
<p>4 今年度の具体的かつ明確な重点目標</p>	<p>◇育友会員（保護者）に、学校教育活動における生徒の様子や実態について正しい認識を持ってもらい、学校行事などを通じて積極的な協力が得られるように努める。又、全国発表の課題にもしたい。 ◇保護者との連絡を密にし、家庭や地域での生徒の健全な育成に努める。</p>	
<p>5 重点目標を達成するための校内における組織体制</p>	<p>・校内の各分掌と連携を図りながら、全職員の協力のもとで組織的に運営する。</p>	
<p>6 目標の達成に必要な具体的な取組</p> <p>▼(1) 育友会への参加を意味あるものとし、会員の出席が増加するように工夫する。 ▼(2) 学校行事への参加の在り方を工夫し保護者の理解を得て積極的な参加を促し、育友会の各委員会の活動をもっと積極的にする。 ▼(3) 学校行事などに、育友会員に積極的に参加していただくように呼びかけを行い工夫する。</p>	<p>7 達成度の判断・判定基準あるいは指標</p> <p>(1) (2) (3) より多くの育友会員（保護者）に学校行事、育友会行事に参加して頂けるか。（携帯メールの積極的活用） 育友会の運営を理解いただき、各行事への積極的な運営を促す。</p>	
<p>8 取組状況・実践内容等</p> <p>▼育友会総会時に一年間の行事が印刷されたカレンダーの配布を行い出席率の向上を図った。 ▼地区懇談会（事前の打合せ、反省会を含めて）では、昨年度の反省点を踏まえて資料を見直し、より多くの出席が得られるように働きかけをした。 ▼育友会による文化祭バザーにおいて、生徒、役員、協力の体制を前面にした取り組みをした。 ▼事故発生時の適切な処置および全高P連賠償責任補償制度（生徒賠償責任保険、PTA管理者賠償責任保険）の全員加入をした。 ▼育友会の独自の行事に積極的に取り組んだ。</p>	<p>9 評価視点</p> <p>①昨年度よりの試みであったが僅かであったが出席率の向上に繋がった。 ②懇談会当日だけでなく、事前の打合せや反省会にも多くの出席者が得られ、保護者からの提言や学校からの情報発信を行うよい機会となった。 ③育友会員（保護者）の多くの協力が得られた。 ④安全会という呼称で利用されている。 ⑤12月のひびきあいの日</p>	<p>10 評価</p> <p>A (B) C D A (B) C D A B C D A (B) C D A B C D</p>

・	施した講演会の開催に際し、各所との協力を得るために各種の行動を行った。	
11 成果・課題	<p>○育友会総会時に配布したカレンダーは、僅かではあるが出席率向上に繋がった、学校への理解を深めるために来年度も継続を考えたい。</p> <p>○地区懇談会においては、昨年度の地区委員の方からスムーズに引継ぎが行われて、昨年度とほぼ同様の出席率が得られた。家庭と学校との連携が効率的で活発な場となり、相互理解と健全な生徒の育成に努められた。また、懇談会で話し合われた内容については、学校の関係分掌で再確認し、反省会を行ったのち育友会広報誌（わかもり）で各家庭に配布した。</p> <p>マンネリ化したテーマばかりでなく、毎年のテーマを設けて討論を行っていきたい。（来年度は非常時の安全登校路の確認とマップ作りを予定）</p> <p>○文化祭バザーにおいて、昨年度に引続き育友会役員と生徒が一体化した実施が定着し、生徒の感謝の気持ちと帰属意識を高めた。他に部活動激励会においても同様な成果が得られた。</p>	<p>総合評価</p> <p>A ③ C D</p>
<p>12 来年度に向けての改善方策案</p> <p>育友会総会の出席率向上のために、過去数年において学校の特色を生かして工夫をしているが、変化が少ない。携帯メールを有効に活用してさらに検討したい。</p> <p>学校全般で携帯メールによる広報が活発になり、育友会に関しても継続的に進めたい。</p>		

## II 学校関係者評価

実施年月日：平成25年1月31日

<p>【意見・要望・評価等】</p> <p>・特になし</p>
---------------------------------